

## I. 総 括

新型コロナウイルス感染症は、新型株への変異を繰り返し、依然収束が見えない状況にあります。愛南町内においても、令和4年度は、過去最高の感染者数を記録し、社協においても事業やサービスを中止・延期する事態が発生しました。感染拡大を防ぐ取組により経済活動の制限が長期化し、休業や失業等の影響により、収入は減少し、生活困窮者が急増しています、また生活困窮による社会的孤立、高齢者の一人暮らしの増加や、人間関係の希薄化等による地域コミュニティの衰退、自殺者の増加など、地域が抱える社会問題はますます深刻なものとなっており、かつて経験したことのない状況下で、多様な支援が求められています。

このような状況のもと、社会福祉協議会はこれまで育んできたネットワークを活かしながら、誰もが排除されることなく安心して暮らし続けることができる福祉のまちづくりの実現を目指し、社協事業に取り組んでいます。

総合相談事業の取組みとして、生活困窮の方への相談支援の強化、食糧支援、就労支援や、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少された方などへの生活福祉資金の貸し付けなど、さまざまな相談に対応してきました。また、令和3年度より受託した「重層的支援体制構築準備事業」は、役場本庁内に社協職員を派遣し、「暮らしの相談窓口」を開設し、相談の属性、世代、相談内容にかかわらず包括的に相談を受け止め、各支援機関が円滑な連携の下で支援できるように準備を整えています。また、令和4年度は、小学4年生から6年生の児童を対象に「おかえり子どもクラブ」を開設し、放課後の児童を安全・安心に見守る居場所づくりを開始しました。

また、社会福祉協議会本来の目的である地域福祉活動として地域の活性化を目的とした小地域での拠点づくりへの取組みや、福祉教育や見守り活動の推進、生活支援体制整備等、感染防止に配慮しながら、地域へ出向き、地域のニーズを把握し、住民の皆さんと共に考える活動に取り組んで参りました。

在宅福祉事業では、愛南町全域の介護現場が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年度となりました。社協においても、職員、利用者に感染者が出ており経営的には打撃を受けました。このような中、今まで以上に利用者、家族との信頼関係や協力体制の充実に図り、医療・行政・関係事業所と個人情報厳守しつつ、迅速で正確な情報の共有と協力をしあう対策をとったことは、事業継続への取組み（BCP）に活かせる経験となりました。コロナ対策が緩和された中、介護現場においては、引き続きコロナ感染拡大防止への取組みは必要であると判断し、継続しております。今後も必要とされる『介護』の提供と、命を守る介護現場を継続するためには、人材の確保や事業継続に必要な収支の安定を図ることが課題となっています。

今後も愛南町社会福祉協議会は、地域住民の皆様を支えられ、信頼され、支持されるように「地域福祉事業」「在宅福祉事業」の更なる充実に向けて取り組んで参ります。

## Ⅱ. 重点項目

### ①重層的支援体制構築準備事業の推進強化・拡充

役場庁舎内（保健福祉課内）に「くらしの相談窓口」を設置し、相談の属性、世代、相談内容に関わらず包括的に相談を受け止め、各支援機関が円滑な連携のもとで支援できるように体制を構築します。

また、地域づくり事業では、令和4年度新たに、放課後の子どもの居場所づくり、地域食堂等に取り組み、課題を抱えた方や障がい者、児童等誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指しています。

### ②小地域での住民のつながり、支え合い活動の推進

小地域を単位として、地域課題等の解決に向けて住民の皆さんと寄り添いながら共に考え、住民同士の支え合い活動を広げていきます。

### ③権利擁護の拡充

権利擁護相談機関として、福祉サービス利用援助事業や法人後見事業を推進し、認知症や精神障がい、知的障がい等の理由により判断能力が十分でない方に対して不利益が生じないように預貯金の管理や日常生活での契約等を行います。関係機関と連携を強化し、相談機能の充実を図りながら支援を行います。

### ④生活困窮者等の地域で孤立しないための支援強化

生活に困窮している方の抱えている多様で複合的な問題に対して、相談に応じ、必要な情報提供や相談を行いながら、その方に合った支援計画を作成し、自立に向けた支援を計画的に行います。

### ⑤災害対応に向けた取組みの推進

近年多発している自然災害を踏まえて、災害ボランティアセンターの設置・運営方法について詳細な検討を進めるとともに、円滑な災害対応を図るため、必要な資機材の整備等を計画的に進めてまいります。

### ⑥経営改善による自主財源の確保

愛南町・愛媛県・愛媛県社協からの受託事業をはじめ、社協会費入会・共同募金運動を推進し、自主財源の確保に努め、経営の安定を図ります。

### ⑦感染予防と経営の安定

新型コロナウイルス感染予防・感染対策を継続して行い、安心してご利用いただけるよう在宅介護サービスを展開し、事業収入の安定を図ります。

### Ⅲ. 事業別報告

#### 《 1 》 法人運営事業

##### < 1 > 法人運営事業

収入額	29,746,620円	主な財源	町補助金・会費・雑収入
支出額	27,111,528円		

①事業の概要…理事会・評議員会の本来の役割に併せて、地域の福祉分野の各層から地域住民を代表して社協活動の推進に参画いただいております。地域における福祉課題の発掘に関する情報やその解決に向けたご提言等をいただくとともに、運営、経営面の改善等にご助言をいただき、更なる組織の機能強化を行ないます。

②事業の目標…取り組んでいる社協の事業・運営状況について具体的に丁寧な説明をしていきます。

#### ◎理事会・監事会・評議員会

##### 1 理 事 会

① 第70回（令和4年度第1回） 書面開催	
日 時	令和4年6月8日（水）
場 所	
同 意	理事 8 名（8名中） 監事 2 名（2名中）
議 案	1 高齢者雇用職員給与規程の廃止について
	2 高齢者雇用職員就業規則の廃止について
	3 職員就業規則の一部変更について
	4 准職員就業規則の一部変更について
	5 臨時職員就業規則の一部変更について
	6 登録・パート職員就業規則の一部変更について
	7 臨時職員給与規程の一部変更について
	8 庶務規定の一部変更について
	9 令和3年度事業報告について
	10 令和3年度決算報告について
	11 令和4年度第1号資金収支補正予算（案）について
	12 理事選任候補者の選定について
	13 評議員選任候補者の推薦について
	14 評議員選任・解任委員会の招集について
	15 評議員会の招集について
② 第71回（令和4年度第2回）	
日 時	令和4年12月22日（木） 14:00～15:00
場 所	社協本所 3階 会議室
出席者	理事 8 名（8名中） 監事 2 名（2名中）
報 告	1 会長の職務執行状況の報告について
議 案	1 専決処分第1号の承認について
	2 福祉国家資格等取得に対する経費補助規程（案）について
	3 令和4年度第2号資金収支補正予算（案）について
	4 評議員選任候補者の推薦について
	5 評議員選任・解任委員会の招集について
	6 評議員会の招集について
③ 第72回（令和4年度第3回）	
日 時	令和5年3月1日（水） 14:00～15:00
場 所	社協本所 3階 会議室
出席者	理事 7 名（8名中） 監事 2 名（2名中）
議 案	1 准職員就業規則の一部変更について
	2 育児・介護休業等規程の一部変更について
	3 令和4年度第3号資金収支補正予算（案）について
	4 令和5年度事業計画（案）について
	5 令和5年度資金収支予算（案）について

## 2 監事会

① 決算監査	
日時	令和4年5月20日(金) 10:00～
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	監事 2名 (2名中)
議案	1 愛南町社会福祉協議会 監査 令和3年度事業報告/令和3年度一般会計収支決算(財務諸表・関係証憑等)

## 3 評議員会

① 第55回(令和4年度第1回)	
日時	令和4年6月24日(金) 13:55～15:40
場所	社協本所 3階 会議室
出席者	評議員 13名 (15名中) 監事 1名
議案	1 高年齢者雇用職員給与規程の廃止について
	2 高年齢者雇用職員就業規則の廃止について
	3 職員就業規則の一部変更について
	4 准職員修業規則の一部変更について
	5 臨時職員就業規則の一部変更について
	6 登録・パート職員就業規則の一部変更について
	7 臨時職員給与規程の一部変更について
	8 庶務規定の一部変更について
	9 令和3年度事業報告について
	10 令和3年度決算報告について
	11 令和4年度第1号 資金収支補正予算(案)について
	12 理事の補欠選任について

② 第56回(令和4年度第2回) 書面開催	
日時	令和5年1月11日(水)
場所	
同意	評議員 15名 (15名中)
議案	1 令和4年度第2号 資金収支補正予算(案)について

③ 第57回(令和4年度第3回)	
日時	令和5年3月28日(火) 14:00～15:00
場所	社協本所 3階 会議室
出席者	評議員 10名 (15名中)
議案	1 令和4年度第3号資金収支補正予算(案)について
	2 令和5年度事業計画(案)について
	3 令和5年度資金収支予算(案)について

## 4 評議員選任・解任委員会

① 第10回	
日時	令和4年6月14日(火) 13:30～13:40
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	委員 5名 (5名中)
議案	1 評議員の選任及び解任について

② 第11回	
日時	令和4年12月26日(月) 10:00～10:10
場所	社協本所 1階 会長室
出席者	委員 5名 (5名中)
議案	1 評議員の選任及び解任について

実績評価  
・問題点

理事会・評議員会・監事会において役員の皆様よりいただいた貴重なご意見ご提言を法人運営事業や地域福祉事業・在宅福祉事業に活かし、地域福祉の推進に貢献していきます。

◎社協会員制度（社協会費）普及状況

①事業の概要…社協は、地域において公共性の高い福祉活動を推進する非営利民間福祉団体として社会福祉法で 市区町村に 1ヶ所 みの設立が認められた社会福祉法人です。地域住民に理解され、支持されることがひとつの条件であり、その証となるものが会員募集及び会費協力の取り組みです。住民全体に社協を認めていただき、社協活動を後押ししていただくべく社協会員としてご理解とご支援をお願いしていくことを趣旨として全戸会員制を推進します。

②事業の目標…会費についての使途、社協の必要性を賛同していただけるよう広報していきます。世帯会員以外の福祉関係団体会員・町外特別会員について、依頼方法を検討し、ご協力をお願いしていきます。

令和4年度実績及び年度対比表

◎個人会費

	29	30	31	2	3	4	前年比
会費(円)	3,173,000	3,145,500	3,082,800	3,044,000	2,981,500	2,925,500	98.1%
加入世帯数	6,345	6,291	6,165	6,012	5,963	5,851	98.1%
加入率	74.9	75.4	74.0	72.1	75.2	74.6	99.2%

※令和4年4月1日現在、組入り世帯数 7,896世帯

◎団体会費 35件 72,000円

(内訳) 住民団体 5件  
法人 3件  
企業 27件

実績評価 ・問題点	個人(世帯)会費が、ほとんど地区会計からの納入となっている現状で、今後も人口減少と地区の組み入り世帯の減少により、個人会費の増額は難しい状況にあります。引き続き、団体(法人)会費、企業への依頼をしていきます。
--------------	--

職員の資質の向上と職員間の連携の強化

①事業の概要…公共性の高い事業を展開する社協であり、従事する職員も常に資質の向上に心がけ、全体・分野ごとに研修会等を計画し、または県社協よる各種研修会に積極的に参加し、地域福祉活動の推進役になれるよう職員の資質向上に努めます。

②事業の目標…職員の定着に向けて働きやすい職場環境改善の取り組みと、「パートタイム・有期雇用労働法」への対応を検討していきます。

実績評価 ・問題点	コロナ禍であったため、リモート研修に参加し、地域福祉・相談事業の充実に向けて取り組みました。
--------------	--

◎社会福祉士実習指導

収入額	204,500円	主な財源	実習受け入れ謝金（再掲）
支出額	0円		

①事業の概要…社会福祉士資格取得のため「社会福祉士及び介護福祉士法」における相談援助実習が180時間以上必要であるため、社会福祉士実習指導者資格を有する社会福祉士が学生の実習指導にあたります。

学校名	人数	期間	謝金
新見公立大学 健康科学部 地域福祉学科	4回生 3名	令和4年6月20日～7月1日・7月11日～7月28日	121,500円
美作大学 生活科学科 社会福祉学科	3回生 1名	令和4年8月22日～8月26日	10,000円
美作大学 生活科学科 社会福祉学科	4回生 1名	令和4年8月4日～9月16日	50,000円
聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科	3回生 1名	令和4年8月4日～9月16日	23,000円

実績評価 ・問題点	<p>社会福祉士実習生の受け入れを行い、実習指導を行いました。 令和4年度は、新規として新見公立大学の学生3名、継続の学校として美作大学、聖カタリナ大学の愛南町出身者の学生3名の受け入れを行いました。 学生と一緒に地域での個別訪問の実施や、地域アセスメントを行い、社会福祉士に必要な技術の向上に務めました。 実習時間が、180時間以上必要であるため、丁寧な指導が必要ですが、一人でも多くの社会福祉士の育成と、愛南町での就職を希望してくれる学生の育成に務めていきます。</p>
--------------	---

※社会福祉士とは、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術を持って、身体上若しくは精神上的の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保険医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」（社会福祉士法及び介護福祉士法第2条第1項）をいう。社会福祉士の資格を取得するためには、受験資格取得後、厚生労働大臣が行う「社会福祉士国家試験」に合格しなければならない

< 2 > 社協運営安定積立事業

収入額	662円	主な財源	繰入金・利息
支出額	0円		

①事業の概要…必要な財源の安定的確保を図るために積立金を設置します。

②事業の目標…収益事業・事業助成金等の検討を進め、安定積立金・退職積立金を確保する。

運営安定積立金 20,000,000円（3月末残高）

実績評価 ・問題点	<p>4年度は、受託金の増額などにより経営が安定し、積立金の補充ができた。新型コロナウイルス感染症や自然災害等緊急時の事業継続に備えて、今後の積立計画の検討をしていきます。</p>
--------------	--

## 《 2 》 地域福祉事業

### < 1 > 調査・企画・広報事業

収入額	756,000円	主な財源	補助金、共同募金
支出額	755,410円		

①事業の概要…社協だよりの発行、ホームページでの住民への周知。

②事業の目標…社協だよりについては、引き続き、検討会議で定期的に内容の検討を行い、住民の方に分かりやすく役に立つ紙面を作成してまいります。ホームページに関しては、業者、検討班も含めて、内容等の検討を行い、見やすく分かりやすいホームページを目指します。

号	発行日	主な掲載内容	
60号	R4.7.1	職員紹介	おかえり子どもクラブ・福祉教育
		事業報告・決算書	夏休みふれあい講座
		ピット・就職準備支援事業	社協会費
61号	R4.10.1	赤い羽根共同募金運動	地域食堂
		夏休みふれあい交流報告	事業所紹介
		愛南いきいき・ふれあいサロン	社協団体会員加入のお礼
62号	R5.2.1	学生ボランティア	フードパントリー・重層的支援体制構築準備事業
		赤い羽根共同募金運動実績報告書	資格紹介
		独居、高齢者世帯訪問	おかえり食堂・社会福祉大会表彰・杖給付

実績評価 ・問題点	<p>社協だよりに関する検討委員会を設けて記事の内容・作成等に関して、その都度検討を行い、記事の充実にも努めることが出来ました。 今後も住民の方が分かりやすい内容または情報の提供が出来るよう、ページを増やし事業所紹介など行なっていきます。</p>
--------------	---

### < 2 > 福祉用具貸与事業

収入額	110,000円	主な財源	補助金、共同募金
支出額	179,273円		

①事業の概要…介護保険事業に該当しない独自の事業として、車いすの貸出を無償で行います。なお、介護保険事業を妨げないためにも、現有器資材のみで対応し補充等は行わないこととしています。

②事業の目標…貸出の状況管理を行い、今までのどおりの方法でいいか、今後要綱の変更など検討してまいります。

福祉用具名	件数
車イス	12台

実績評価 ・問題点	<p>令和2年度からギャッジベッドが老朽化しているため貸し出しをやめ、返却があり次第処分してまいります。 車椅子の返却はあるがタイヤ交換が必要なもの、汚れがひどいものがあるため、点検をしながら貸し出しを行います。</p>
--------------	--

### < 3 > マイクロバス管理運営事業

収入額	634,125円	主な財源	町補助金
支出額	695,655円		

①事業の概要…社協活動の推進ならびに社会福祉団体・関係機関及び各種団体が、住民の福祉向上・ボランティア活動等に資することを目的として、サロン・老人クラブ・社協に係る団体等に人数制限、消毒等感染防止をしながらマイクロバスを貸出ししています。

②事業の目標…昨年度同様にサロン・老人クラブ等が使用することが見込まれるため、感染防止を安全で快適な運行、運転手の確保に努めます。

年度	貸出数	貸出内訳数			
		町内	町外 (松山市除く)	松山市	県外 (宿毛・四万十市含む)
2	12	1	5	1	5
3	9	1	5	1	2
4	37	11	10	7	9

実績評価 ・問題点	<p>令和2年3月に町から中古マイクロバスを譲渡して頂きましたが、年式も古く、走行距離も走っており、修理がかかる状況にあります。</p>
--------------	--

### 《 3 》 地域福祉活性化事業

#### < 1 > 愛南ふれあいサロン事業

収入額	591,200円	主な財源	共同募金、会費、寄附金
支出額	586,075円		

①事業の概要・・・地域住民がお世話役となって、閉じこもりがちな高齢者が気軽に集い、仲間づくりや心身の健康保持、生きがいがづくりに取り組む活動として町内各地に広まってきており、令和3年度も継続して立上げを支援し、地域コミュニティの強化及び小地域の助け合い・支え合いを推進します。

②事業の目標…サロン代表者の高齢化による後継者問題や、会員数の減少などによりサロンの継続が難しくなっています。そこで、代表者会を年に2回、サロン交流会、地域サロン交流会を開催し、他のサロンの現状把握や、課題について情報共有し、今後のサロンの継続やサロンの在り方について一緒に考え支援を行っていきます。また、各サロンへ出向き、地域におけるサロンの役割や効果についても把握し、各サロンへ情報の発信を行います。

#### 令和4年度サロン開設状況

No.	名称	地区	登録人数	実施回数	助成金額
1	楽しい集い	内海（魚神山）	17名	11	20,000円
2	おーい元気かーい	御荘（馬場）	23名	12	20,000円
3	菊川ふれあいサロン	御荘（菊川）	11名	8	16,000円
4	長崎サロン	御荘（長崎）	14名	10	20,000円
5	僧都・山出ふれあいサロン	城辺（僧都）	17名	0	0円
6	さくらサロン	城辺（久良）	10名	3	6,000円
7	太陽サロン	城辺（久良）	10名	11	20,000円
8	十人会	城辺（岩水）	13名	11	20,000円
9	にこにこサークル	城辺（深浦）	25名	10	20,000円
10	カトレアサロン	城辺（中原）	9名	17	20,000円
11	なごみ会	城辺（岩水）	12名	10	20,000円
12	鳥越サロン	城辺（鳥越）	25名	10	20,000円
13	サロン南天	城辺（中町）	18名	12	20,000円
14	サロン・さくら	一本松（中川）	12名	8	16,000円
15	サロン・みなみ	一本松（増田）	14名	7	14,000円
16	サロン・うみ	一本松（満倉）	13名	10	20,000円
17	一本松サロンなでしこ	一本松（一本松）	15名	7	14,000円
18	中泊ふれあいサロン	西海（中泊）	15名	5	10,000円
19	船越ふれあいサロン	西海（船越）	28名	10	18,000円
20	福浦ごきげんクラブ	西海（福浦）	22名	11	20,000円
21	しぐらサロン	西海（麦ヶ浦）	9名	6	12,000円
22	手まりの会	西海（内泊）	19名	6	12,000円
23	笑、笑	西海（下久家）	23名	6	22,000円

#### 令和4年度愛南ふれあいサロン全体事業

事業名	開催日	参加者	内容
第1回サロン代表者会	R4.6.17	12名	①サロン要綱について ②サロン交流会について ③サロン出店について ④松野町サロン交流会について
第2回サロン代表者会	R5.2.7	15名	①サロンの地域福祉活動 ②グループワーク
サロン交流会	R4.6.23	31名	モルック・ランチ会
サロン交流会	R4.7.13	31名	中泊サロン訪問・雪の結晶作り・棒体操 高茂岬出張サロン
サロン交流会	R4.6.24	32名	モルック・ランチ会

事業名	発行日	部数	内容
サロンだより発行	R4.4.22～	408	サロン訪問記・活動の卵 エール！サロンに届け！等



実績評価 ・問題点	<p>令和4年度 愛南町ふれあいサロン数 23サロン(新規立ち上げサロン 1・休会サロン 2) サロン訪問 40回</p> <p>サロンだより「愛南NOKOTO」を2年計画で作成し、今年度で終えることが出来ました。サロンだよりを発行することで、他サロンの活動や、町内の地域福祉活動を周知することが出来ました。</p> <p>また、サロン交流会を開催することで、お互いのサロンが活動の参考になったり、次の交流に向けて計画をする等、サロン活動の活性化を図ることが出来ました。</p> <p>今後、既存のサロンだけでなく、住民へサロンの効果や周知を行い、新規サロン立ち上げの支援に取り組んでいきます。</p>
--------------	---

### < 2 > 愛南町地域福祉活動計画

愛南町社会福祉協議会では、令和4年3月に第2期愛南町地域福祉活動計画を策定し、「誰もがその地域で安心して暮らせる地域社会の構築」を基本理念とし、「ふだんのくらしのしあわせ」が当たり前のこととなるよう、愛南町に、「ふつうのくらしのしあわせ」の仕組みを作っていくことを目指し、地域福祉を推進していきます。

#### 【取組内容】

令和4年4月	第2期地域福祉活動計画冊子の配布	配布数(282) 行政協力員(93)・民生委員(91)・地域福祉活動計画策定員(11)・社協理事、評議員、監事(25)・役場(10)・県内社協(21)・社協(31)
毎月20日	サロンだより送付	地域福祉活動計画策定委員、サロン等に毎月サロンだよりを送付した
12月1日(木)	地域福祉活動計画勉強会	社協職員17名で、第2期愛南町地域福祉活動計画勉強会を実施した

実績評価 ・問題点	<p>第2期地域福祉活動計画を策定し、ふだんのくらしを支えるしくみづくりに取り組みました。関係機関に冊子を配布し、活動計画の周知を行いました。また、サロンだよりを送付し、地域での福祉活動の啓発を行いました。</p> <p>また、生活支援体制整備、重層的支援体制整備事業、小地域活性化事業では、小地域での懇話会を開催し、小地域での支え合い、誰もがその地域で安心して暮らせる地域づくりに取り組みました。</p>
--------------	---

### < 3 > 福祉教育推進事業

収入額	62,000円	主な財源	共同募金
支出額	235,124円		

#### 福祉教育実施回数推移

年 度	保育所	小学校	中学校	高校	高齢者・ 教員・町職員	合計	備考
令和2年度	0	9	2	0	0	11	
令和3年度	0	11	5	0	0	16	
令和4年度	0	22	5	0	0	27	

実績評価 ・問題点	<p>コロナ禍でありましたが、感染対策に十分留意し、地域と学校の交流会の実施や、独居訪問など体験学習を実施することができました。来年度は行なっていない学校でもやっていきたいと考え、地域とのつながりを大事に取り組んでいきます。</p>
--------------	--

#### < 4 > 小地域活性化事業

収入額	1,042,820円	主な財源	事業収入、助成金
支出額	1,346,329円		

##### ご縁茶屋の実績

月	回数	内容	売り上げ
4月	0		0
5月	0		0
6月	2	お好み焼き・カレー販売	57,500円
7月	2	ガパオライス・カレー販売	47,300円
8月	2	ガパオライス・カレー販売	58,300円
9月	2	焼きそば・フードパントリー弁当	60,000円
10月	3	カレー・鶏の唐揚げ・フードパントリー弁当	86,750円
11月	3	カレー・お好み焼き・フードパントリー弁当	87,100円
12月	3	お好み焼き・ガパオライス・ご縁ランチBOX販売	122,250円
1月	1	お好み焼き販売	33,600円
2月	2	お好み焼き販売・フードパントリー弁当	73,450円
3月	2	ガパオライス・フードパントリー弁当	62,800円
合計			689,050円

##### その他の拠点

拠点名	代表者	スタッフ	
やまびこキッチン	山本 信江	6名	5・6・10・11・12・1月ランチを実施 キッチン・配食活動
おいでな～し菊川	山平 輝代	5名	9・10・11月テイクアウト弁当販売 8月菊川ニーズ調査訪問

##### 【研修会】

- 1月27日(金) 小地域活性化事業 視察研修「島の保健室」 開催 参加 10名  
 2月 7日(火) 小地域活性化事業研修会開催 参加 15名

実績評価 ・問題点	<p>感染対策を行いながら、ランチを実施したり、テイクアウトでの開設等、工夫しながら拠点運営をすることができました。                  地域の担い手の活動の場として常設の拠点づくりができるよう、継続して支援に取り組んでいきます。</p>
--------------	--

#### 《 4 》 ボランティア活動振興事業

##### < 1 > ほっとサポート愛南事業

収入額	24,000円	主な財源	会費、共同募金
支出額	24,636円		

##### 活動状況

延べ新規相談回数	7 回
延べ利用回数	17 回
活動内容 (主なもの)	通院付き添い、掃除

実績評価 ・問題点	<p>協力会員数 25名 利用会員数 161名                  地域内でのちょっとした困りごとの支え合いの相互援助活動を行いました。今後、周知やニーズ調査に取り組んでいきます。</p>
--------------	---

< 2 > ボランティア市民活動支援センター事業

収入額	618,000円	主な財源	共同募金
支出額	1,063,854円		

[ 1 ] 町内ボランティア活動団体支援事業

加入団体名	主な活動内容	会員数
1 子育て支援グループ「こぶたたんぼぽケットとんぼ」	こぶたのお家運営 子育て支援 子育てネットワークの充実	12
2 おいでなーし菊川	ボランティア活動	5
3 てんとうむしの会	視覚障がい者支援・点約	12
4 チームばせ	地域活性、交流	16
5 傾聴ボランティア「お話相手おひさま」	傾聴ボランティア活動、研修、広報活動	12
6 一本松おもちゃ図書館あゆみくらぶ	おもちゃ遊びで健常者・障がい児（者）との交流、おもちゃ作成	9
7 正木やまびこ会	食事の提供と地域交流	6
8 松ぼっくり	障がい者生活支援	26
9 愛南町ひとり親サポートwithぴ〜す	生活支援品と夕食の提供	15

[ 2 ] 各種講座の開催

夏休みふれあい講座

開催日	内 容	参加者	対象
7月25日（月）	防災体験学習	4名	町内小学生4～6年生（3） 高校生ボランティア（1）
7月28日（木）	ぎゅぎゅつとキャンプ2022 ～海活動～	9名	町内小学生5・6年生（8） 高校生ボランティア（1）
7月29日（木）	ぎゅぎゅつとキャンプ2023 ～海活動～	9名	町内小学生5・6年生（8） 高校生ボランティア（1）
7月25日～29日	一日保育ボランティア	3名	高校生ボランティア（3）
8月2日（火）	UVレジキキーホルダー	10名	町内小学生4～6年生（10）
8月3日（火）	みんなで宿題をしよう！ 書道交流会	4名	町内小学生4～6年生（4）
8月9日（火）	自然と遊ぼう！釣り大会	11名	町内小学生4～6年生（9） 高校生ボランティア（2）

冬休みふれあい講座

開催日	内 容	参加者	対象
12月26日（月）	多肉植物の寄せ植え交流会	21名	町内小学生5・6年生（12） 中学生ボランティア（9）
12月27日（月）	お正月リース作り交流会	11名	町内小学生4～6年生（8） 中学生ボランティア（3）
12月28日（月）	手作り豆腐作り交流会	4名	町内小学生5・6年生（4）

高校生ボランティア養成

開催日	内 容	参加者	対象
6月3日（金）	ボランティア養成講座	11名	一年生11名
6月27日（金）	第2回ボランティア養成講座	11名	一年生11名
7月25日～8月9日	夏休みふれあい講座	8名	3年生8名
11月18日（金）	芋ほりボランティア	6名	2・3年生6名

実績評価  
・問題点

コロナ禍ではありましたが、参加人数を制限する等感染防止対策を十分に講じて夏休み講座、冬休み講座等を開催しました。小学生同士の交流を図るとともに、中高生ボランティアの体験の機会を提供することができました。

< 3 >生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）（町受託事業）

収入額	3,594,800円	主な財源	町受託金
支出額	3,506,188円		

①事業の概要・・・住民同士の支え合いを推進し、高齢者が地域で安心して暮らせることを目的に、「生活支援コーディネーター」の配置と、地域で暮らすさまざまな立場の人たちが一緒になって支え合いの地域づくりに向けて協議する「協議体」を設置し、介護予防や生活支援の基盤づくりを行います。

②事業の目標…第1層生活支援コーディネーターとして、自分たちの地域で生活支援や介護予防を話し合う「懇話会」の開催をはじめ、地域の人、地域のもの、場所をつねげ、活動を支援する。また、第2層協議体の設置、第2層生活支援コーディネーターと連携し、地域の支え合いの仕組み作りを促進します。

活動内容	実績数	目標数
(1) 住民参加の促進及び生活支援ニーズの把握	17	54
(2) 地区における自主活動の育成及び支援、並びに担い手育成	53	30
(3) 関係機関とのネットワーク	47	40
(4) 関係者とのネットワーク	41	10
(5) 前年度モデル地区への支援	33	10
(6) 第2層協議体設置への取り組み・地域活動支援	20	10
(7) 業務日誌の作成及び各項目における報告書の作成	47	16

(1) (2) (3) (6)

【第2層モデル地区】

一本松 増田地区

懇話会4回/独居高齢者ニーズ調査 実施（第2層コーディネーター2名参加）  
介護予防教室3回開催地域の高齢者の困りごとを調査し、区長・組長全員とふれあいサロン、民生委員と情報を共有し、地図マッピングを行い、自分たちの把握している情報を共有することができました。

(1) (2) (3)

【新規モデル地区】

御荘 栄町地区

懇話会3回/夕涼み会・防災視察研修（黒潮町）・クリスマス抽選会・上映会・介護予防教室を3回 実施。  
地区防災組織を中心に、懇話会を開催。地域イベントとして「夕涼み会」と企画、実施。80名の参加があり多世代交流を行うことが出来ました。

城辺 深浦地区

懇話会4回/全戸世帯訪問・地域食堂2回・ふれあいサロン交流会1回・介護予防教室1回 実施。  
ふれあいサロン、区長を中心に、地域福祉活動について検討を行い、「集まる」ことを目的に、地域食堂を開催第1回では、テイクアウトでの開催をし、「みんなで一緒に食べたい」「地域食堂良かったよね」の住民の希望より、第2回の地域食堂を開催し、参加住民みんなが地域食堂を支える役割を持ち、活動出来ました。

(1) (2) (3) (5)

【前年度モデル地区への支援】

満倉地区	懇話会3回開催。消防団を中心に、防災学習を行う予定。
下久家地区	ふれあいサロン「笑、笑」立上げ。継続支援を行いました。
福浦地域	懇話会3回開催。高齢者独居訪問でニーズ調査を行い、福浦小学校と連携し、高齢者訪問を行いました。
中川地区	懇話会2回開催。地域イベントを開催する計画だったが、コロナの影響で延期。
正木地区	やまびこキッチン、やまびこ会への訪問と支援を行いました。
馬瀬地区	懇話会1回。チームばせのカフェ、ホテル観賞会への参加、支援を行いました。
岩水地区	区長等と連絡調整を行い、新型コロナ終息を待って活動を再開することを決定。

【研修会】

9月5日(月)	50名参加	生活支援体制整備事業研修「愛南の地域の力はすごいぞ！」講師；山梨県立大学 准教授 高木寛之 氏
---------	-------	---

(3) 関係機関とのネットワーク

- 地域包括支援センターとの打ち合わせ4回
- 愛南町生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体4回
- 地域ケア個別会議3回

(4) 関係者とのネットワーク

実績評価 ・問題点	<p>地域の高齢者やサロン等を対象に懇話会の開催や聞き取り調査を行い、ニーズ調査、支え合い活動等の自主活動へつなげる支援を行いました。地域食堂や地域イベントを開催し、地域で暮らす人同士の顔つなぎ活動を実施しました。</p> <p>また、協議体会議、介護予防教室、地域ケア会議等関係機関、関係団体等と連携し、情報の共有、課題の検討等を行いながら、各関係機関等とネットワークを作ることが出来ました。</p>
--------------	---

《 5 》食の自立支援事業（配食サービス事業）

収入額	502,320円	主な財源	町受託金
支出額	557,820円		

①事業の概要・・・一人暮らしの高齢者等で、食生活に支障のある方に対して、ボランティアの協力を得て昼食弁当の配食サービスをおこなうことにより、高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう支援し、併せて安否確認を行うものです。

月・火・木・金 の週4回（昼食分のみボランティアの協力により配食）  
 弁当は業者委託1食650円（利用者負担金 450円）

②事業の目標…令和3年度は城辺地区4名御荘2名西海1名です。今後も配食方法をボランティアさんと検討をしていきます。

年度別配食数

年度	単価	内海	御荘	城辺	一本松	西海	計
2年度	450	0	628	525	0	96	1,249
3年度	450	0	237	484	0	94	815
4年度	450	0	96	419	0	44	559

実績評価 ・問題点	利用者が年々減少しており、町と事業の検討をしていく必要があります。
--------------	-----------------------------------

## 《 6 》心配ごと相談事業

収入額	278,000円	主な財源	町受託金
支出額	277,860円		

[1] 無料法律相談事業（場所：御荘老人福祉センター）（町受託事業）

① 町の受託金を活用し、月に1回の法律相談（偶数月：司法書士、奇数月：弁護士）を開催し相談を受け、複雑な社会情勢や経済状況の中で、住民のあらゆる生活、福祉の問題について、適切な助言や法的な解決が必要な問題への対応を行いました。

② 司法書士相談実績（1回の開催につき5件対応）

開設日	年度	開催回数（回）	相談者数（名）	平均相談者数	相談員
4・6・8・10・12・2月 第3木曜日 14:00~16:00	2年度	5	16	3.2	司法書士 増本 園
	3年度	6	20	3.3	
	4年度	6	21	3.5	

③ 司法書士相談内容（件数）

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借地・借家	土地・相隣	連帯保証人 負債回収	その他	相続	その他	多重債務	その他	その他	
2年度	2	1	0	0	3	1	6	0	3	16
3年度	0	4	1	4	5	3	1	1	1	20
4年度	1	3	0	2	3	2	2	5	3	21

④ 弁護士相談実績（1回の開催につき6件対応）

開設日	年度	開催回数（回）	相談者数（名）	平均相談者数	相談員
5・7・9・11・1・3月 第3火曜日 14:00~16:00	2年度	6	28	4.7	弁護士 松本 宏
	3年度	5	23	4.6	
	4年度	6	33	5.5	

⑤ 弁護士相談内容（件数）

	一般民事				家庭		金銭		その他	計
	借地・借家	土地・相隣	連帯保証人 負債回収	その他	相続	その他	多重債務	その他	その他	
2年度	2	6	0	4	9	2	0	1	4	28
3年度	1	3	2	4	2	5	1	3	2	23
4年度	2	5	0	2	8	4	3	4	5	33

実績評価  
・問題点

町の広報・防災無線等で毎回周知し住民のあらゆる問題の解決に繋がっています。4年度は、昨年度に比べて、周知が広がり相談件数も多くなりましたが、依然コロナ禍の中で問題を抱えている方が多くなっているため、相談内容が多岐に亘っており、今後もこのような相談ケースが多くなることが予想され、相談後の支援、関係機関への繋ぎに取り組んでいきます。

## 《 7 》共同募金配分事業

### ＜ 1 ＞一般配分事業

収入額	3,606,060円	主な財源	共同募金配分金
支出額	3,947,902円		

#### 主な配分事業

事業名	内 容
1 老人福祉活動	
1 福祉杖支給事業	高齢者等への福祉杖の支給
2 ふれあいサロン事業	サロン団体へ助成・育成活動
2 障害者・児福祉活動	
1 町身障福祉協議会助成	団体への活動助成
2 手をつなぐ育成会助成	団体への活動助成
3 障害者福祉講座事業	講座の開催
3 児童・青少年福祉活動	
1 夏休み体験学習	夏休み体験学習
2 福祉教育推進事業	小学生・中学生への福祉教育の実施
1 南予里親普及事業助成	活動助成
2 子育て支援事業	子育て支援講座の開催
4 母子・父子福祉活動	
1 母子家庭小学校卒業児童激励事業	母子・父子家庭の児童に対して小学校卒業時に図書カードを贈呈
5 福祉育成・助成事業	
1 民協活動助成	民生児童委員協議会への活動助成
2 広報・啓発	社協だより・ホームページ
6 ボランティア活動育成事業	
1 町ボランティア活動助成	町内のボランティア団体への活動助成
2 小地域活性化事業	拠点づくり（ご縁茶屋）まちづくり座談会
7 共同募金運動推進事業	
1 募金運動資材の整備	啓発活動

### ＜ 2 ＞特別配分事業

収入額	1,756,000円	主な財源	共同募金配分金
支出額	1,755,010円		

#### 「赤い羽根地域福祉推進特別事業」

共同募金特別配分を受けて、重層的支援体制整備事業の車両を整備し、町内での活動場所や関係機関への移動がスムーズにできるようになり、事業推進のために様々な活動に活用しています。

### ＜ 3 ＞共同募金運動啓発・推進

目標達成率	目標額	4,891,000円	実績額	5,025,320円	達成率	102.7%
-------	-----	------------	-----	------------	-----	--------

- ・戸別募金、職域募金、学校募金、大口募金
- ・ゆらり内海へガチャポン（缶バッジ）を設置。売上の全額を募金

実績評価 ・問題点	<p>一般配分事業・特別配分事業ともに、社協の地域福祉活動に支出・活用し、地域や団体、住民の方への取り組みを行うことが出来ました。共同募金運動については昨年度実績を数年ぶりに上回り、コロナ禍にもかかわらず、戸別、職域、学校、大口などご協力をいただき500万円を超える募金を集めることができました。</p> <p>今後も継続して共同募金の広報・周知を行うとともに、新しいお願い先などを開拓、店舗での募金箱の設置等にも取り組んでいきます。</p>
--------------	---

## 《 8 》総合相談支援事業（くらしの相談室）

### ＜ 1 ＞福祉サービス利用援助事業

収入額	518,200円	主な財源	県社協受託金、利用料
支出額	481,275円		

利用状況

年度	利用者数	生活支援員数
R2年度	6名	3名
R3年度	6名	4名
R4年度	9名	4名

・主な支援内容 日常的な金銭管理

実績評価 ・問題点	新規3名の契約を行いました。利用者の生活状況に合わせ、関係機関と連携し、利用者が安心して生活できるように支援しました。生活支援員は現在のところ不足はしていませんが、確保や連携に努めていきます。本事業の利用希望者が増えてきていますが、その生活課題は複雑化しており、困難事例もあり、十分なアセスメント、関係機関との密な連携が必要です。
--------------	---

### ＜ 2 ＞生活福祉資金貸付事業

収入額	2,687,060円	主な財源	県社協受託金
支出額	2,686,780円		

#### ① 令和4年度貸付件数

資金種類	福祉資金	緊急小口資金	教育支援資金	総合支援資金	計
相談件数（重複）	22	66	6	1	95
貸付件数	6	19	1	0	26
貸付金額	739,000	1,381,669	257,000	0	2,377,669

実績評価 ・問題点	資金の貸付により、一時的な困りごとや自立更生のため支援することができました。また、生活保護の申請による生活費のつなぎ資金の貸付により、困窮している方の生活を支えることができました。課題として、貸付後の世帯や滞納世帯に対しての状況把握や償還状況の確認、役場、困窮担当者等と情報共有し、相談等を行っていきます。
--------------	---

### ＜ 3 ＞生活福祉資金貸付事業（コロナウイルス特例貸付）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付

- ・緊急小口資金（20万円）
- ・総合支援資金（単身世帯：45万円/2人以上世帯：60万円）×3ヶ月

#### ① 令和2年3月25日（開始日）～令和4年9月30日

資金種類	緊急小口資金	総合支援資金	総合支援資金（延長）	総合支援資金（再延）	合計
申請件数	120	107	42	72	341
申請金額	22,950,000	57,290,000	21,910,000	38,260,000	140,410,000

実績評価 ・問題点	コロナウイルスの影響を受けて収入が減少した世帯へ貸付することで、緊急かつ一時的な生計維持につながりました。令和4年9月に貸付は終了し、令和5年1月より償還が始まっていますが、まだまだ生活再建が困難な方が多く、償還免除・猶予等の手続き支援や相談・支援体制等の充実が必要になっています。
--------------	---



< 4 >生活困窮者自立相談支援事業

収入額	4,500,000円	主な財源	県受託金
支出額	4,508,396円		

相談実績

	相談件数（新規）	対象者数	プラン（再）件数	備考
R2	101件	3名	3件	コロナ特例貸付の相談含む
R3	68件	1名	3件	コロナ特例貸付の相談含む
R4	50件	1名	3件	コロナ特例貸付の相談含む

実績評価 ・問題点	包括支援センター、司法書士、ケースワーカー等関係機関と連携して、包括的な支援を行うことができました。支援調整会議を開催し、また重層的支援体制整備事業の支援会議に参加することで福祉以外の分野と情報を共有することができました。また、令和4年度もコロナウイルス特例貸付、生活困窮者自立支援金利用者の相談が多く、様々な形で生活困窮者と繋がることができました。令和5年1月からコロナ貸し付けの償還が始まり、また物価高騰等の影響で生活困窮者が増えることが予想されるため、特例貸付利用者の状況確認や重層的体制整備事業の相談窓口と連携し、相談支援体制の充実を図るとともに、包括的な支援体制に取り組む必要があります。
--------------	---

< 5 >家計改善支援事業

収入額	2,402,000円	主な財源	県受託金
支出額	2,404,190円		

支援実績

	相談件数	対象者数	プラン（再）件数	備考
R2	2件	3件	3件	終結2件
R3	0件	1件	1件	
R4	1件	2件	2件	

実績評価 ・問題点	自立相談支援事業と連携して支援を行っているが、利用者が少ない状況にあります。相談者と一緒に家計の「見える化」を図り、家計改善に向けてアドバイスをしました。利用者が自分で家計を管理しようと意欲的になり、少しずつ貯蓄をするようになってきました。フードパントリーや自立相談、総合相談窓口などの周知も行うことができました。
--------------	---

< 6 >生活困窮者・被保護者就労準備支援事業

収入額	5,000,000円	主な財源	県受託金
支出額	5,002,443円		

支援実績

	相談件数	対象者数	プラン（再）件数	備考
R2	3件	3名	5件	被保護者2名
R3	3件	3名	2件	被保護者2名
R4	4件	5名	5件	被保護者4名

実績評価 ・問題点	利用者5名。利用者支援プログラムを作成し、生活保護就労支援員や地域の方々の協力を得て、支援を行ないました。利用者1名は就職に結びつき、自立した生活に向かっています。他2名は被保護者で他府県に転居し支援は終了しました。他2名は被保護者で、関係機関と連携しながら保護から脱却し自立した生活に向けた支援を継続しています。課題として、広報や民協定例会、地域拠点活動等での事業の周知、協力事業所の開拓などを行っていきます。
--------------	--

< 7 > 法人後見事業

収入額	1,211,000円	主な財源	事業報酬
支出額	169,203円		

利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な支援内容
後見	3名	3名	3名	財産管理・身上監護
保佐	2名	3名	3名	財産管理・身上監護 (代理権付与)
補助	0名	1名	1名	財産管理・身上監護 (代理権付与)

実績評価 ・問題点	新規受任なし。1名死亡。コロナウイルスによる感染防止のため、施設での面会に制限がありました。施設と密に情報共有し、ガラス越しの面会を行うなど本人の生活状況を確認しました。利用者の入所、家族の死亡時には、親族や病院、施設等関係者と連絡を密にして支援することができました。入院時、死亡時の対応について、親族の状況、支援等が不明なケースがあり、確認を強化する必要があります。
--------------	--

< 8 > 重層的支援体制構築準備事業

収入額	15,291,800円	主な財源	町受託金
支出額	15,183,386円		

【相談支援事業】

支援実績

	対象者数	対応件数	備考
R3	36名	93件	
R4	22名	50件	

実績評価 ・問題点	相談支援事業については役場保健福祉課内に福祉総合相談窓口・くらしの相談窓口が置かれており、様々な相談に今年度も対応しました。昨年度に比べ、件数としては約半減しているが、昨年度は長期的に関わる対象者が数名いましたが、今年度は長期に亘って関わる対象者が少なかったことで件数が減りました。窓口に来られて相談を受けたケースや電話での相談などで支援を行なったケースもあり、単独に関わることもありますが、行政の総合相談窓口担当者や関係機関と一緒に対応する事例がほとんどでした。支援会議や包括的支援会議(重層的支援会議)に関しては3回開催しましたが、単発の開催になってしまうことが多く、その後の状況の経過などを関係機関で共有することが不十分だったので、各関係機関との連携を強め、支援対象者に係る複雑化・複合化した課題の拾い上げを意識しながら、包括的支援会議に繋げるなどして、支援がスムーズに出来るよう取り組んでいきます。
--------------	---

【地域づくり事業】

①世代や属性を超えて交流できる居場所の整備

【柏地域】

柏地域では、地域懇話会を5回開催し、柏遊会を中心とした地域づくりに取り組みました。活動を始めるにあたり、地域の課題を知るために、学生と一緒に個別訪問調査をし、ニーズ把握を行いました。ごみ捨てや買い物の問題に対して、どうすれば支え合いの地域づくりができるのかを話し合い、支えて、受け手と区別するのではなく支え合う関係性を築けるよう、地域食堂やひまわり畑での取り組みを通じ、地域の誰もが役割を持ち参加できる場(機会)を作っていくよう取り組みました。

月日	場所	内容	参加者
5月13日(金)	梶屋敷集会所	第1回柏地域懇話会 令和4年度地域活動の取り組みについて	柏遊会12名 社協3名
6月3日(金)	梶屋敷集会所	第2回柏地域懇話会 地域食堂の開催について/訪問調査について	柏遊会11名 社協3名
6月16日(木)	梶屋敷集会所	第3回柏地域懇話会 地域食堂の開催の周知について/訪問調査日程や内容について	柏遊会7名 社協2名
7月24日(日)	梶屋敷集会所	第1回 地域食堂	柏遊会7名・社協5名 地域住民75名
8月23日(月)	梶屋敷集会所	第4回柏地域懇話会 耕作放棄地の活用について/第2回地域食堂の開催について	柏遊会7名 社協3名
9月10日(土)	ひまわり畑	ひまわり畑お接待 柏遊会が整備したひまわり畑で、地域の方を対象にお接待を開催した	柏遊会7名 社協4名
10月15日(土)	梶屋敷集会所	第2回地域食堂	柏遊会10名・社協5名 山梨県立大学5名 地域住民65名
10月15日(土)	柏地域	柏地域75歳以上独居/80歳以上高齢者世帯 個別訪問調査	柏遊会8名・社協5名 山梨県立大学5名
11月4日(金)	梶屋敷集会所	第5回柏地域懇話会 今後の活動について	柏遊会13名 社協2名
11月24日(木)	柏小学校	柏・柏崎・須ノ川 独居訪問	区長・民生委員・柏遊会 10名社協4名・児童24名
12月18日(日)	DEあい21	地域活性化に向けた地域づくり研修会(柏遊会主催) 講師:山梨県立大学 高木 寛之准教授	柏遊会16名 社協4名

#### 【長月地域】

長月地域では、区長、民生委員、老人クラブ、サロン、PTA、公民館長等が中心となり、懇話会を開催しました。  
地域資源を知るために、地域の地図マッピングを行い、実際に独居の方を訪問し、ニーズ把握を行いました。  
ニーズ調査では、「移動」についての困りごとが多く挙げられました。そのことに対して懇話会では、長月地域は公共交通機関が通っておらず、高齢になっても自家用車が必要不可欠となっているが、車の維持費や運転の安全の有無など、今後5年後、10年後を考えるとこの課題は深刻になってくると考えられることから、「お試シタクシー乗り合い体験」や「交通安全教室」を実施し、移動に関する関心度実態調査を行い、今後の活動につなげていきます。

月日	場所	内容	参加者
7月20日(水)	長月公民館	第1回 長月地域懇話会 防災学習について/地域地図マッピングについて	長月地域9名 社協2名
8月4日(木)	長月公民館	長月地域地図マッピング 区長さんと一緒に地域の独居のマッピングを行う	区長4名 社協3名・学生2名
8月23日(月)	長月地域	長月地域70歳以上独居・80歳以上高齢者世帯訪問調査	区長2名・民生委員2名・社協3名・学生2名
9月6日(火)	長月公民館	第2回長月地域懇話会 個別訪問調査から地域分析を行い、地域支援計画を作成し、地域の方へ報告会を実施した	長月地域8名 社協3名・学生2名 山梨県立大学准教授
9月27日(火)	長月公民館	第3回長月地域懇話会 地域交流会について検討 コスモス祭りで、学校、地域一体となった交流を行うことについて検討	長月地域12名 社協2名
10月20日(木)	長月公民館	地域交流会打ち合わせ	長月地域12名 社協2名
10月30日(日)	長月公民館	地域交流会 コスモス祭り/防災学習	長月地域150名 社協4名

## ②おかえり子どもクラブの開設

6月から開始したおかえり子どもクラブでは、放課後児童が安心して過ごせる場づくりに努め、保護者が迎えに来る時間まで支援員2名体制で見守りを行いました。月に数回、地域の方を招いてプログラム実施や、外での活動など様々な活動を取り入れています。

10月からは保育士OBを支援員として配置し、児童が安心して過ごせる体制づくりを行いました。

また、児童だけでなく、家族も一緒に食を囲む「おかえり食堂」を年2回開催し、交流を図ることができました。

おかえり食堂では、仕事が終わって食事をする時間を軽減することで保護者の負担を減らすことができました。また、食事を準備してくださった地域のボランティアさんとの交流もでき世代間交流や地域とのつながりができています。

### 【利用実績】

月	利用者数	開催日数	利用延べ人数	備考
6月	6	14	53	6月8日開設
7月	6	9	29	7月18日より夏休み
8月	6	0	0	夏休み
9月	7	16	59	
10月	7	16	62	
11月	7	15	64	
12月	7	13	53	12月23日より冬休み
1月	7	8	23	コロナによる学校閉鎖のため開催日数減
2月	7	12	51	
3月	7	14	56	

月日	内容	講師	場所	参加人数
6月8日(水)	バルーンアート	大西 聖	夢創造館	4
6月16日(木)	手話教室	保村由加里	夢創造館	5
6月22日(水)	映画上映	社協	夢創造館	4
6月29日(水)	ドッジボール	社協	B&G	4
7月6日(水)	スイカ割ゲーム	社協	夢創造館	4
7月14日(木)	A L T英会話	デイミエン	夢創造館	4
9月1日(水)	バルーンアート	大西 聖	夢創造館	6
9月7日(木)	竹とんぼづくり	中田非斗志	夢創造館	5
9月14日(水)	映画上映	社協	夢創造館	5
9月15日(木)	A L T英会話	デイミエン	夢創造館	3
10月5日(水)	ドローン講習会	中田非斗志	B&G	4
10月13日(木)	A L T英会話	デイミエン	夢創造館	3
10月26日(水)	防災教室	立石和子	夢創造館	5
10月31日(月)	ハロウィン	社協	夢創造館	6
11月2日(水)	写生会	社協	馬瀬山	5
11月10日(木)	A L T英会話	デイミエン	夢創造館	3
11月25日(金)	おかえり食堂	松本明子・尾崎都・西本梓	菊川交流館	15
12月1日(木)	A L T英会話	デイミエン	夢創造館	3
12月12日(月)	クリスマス制作	社協	夢創造館	5
3月23日(木)	おかえり食堂	社協	夢創造館	26

## ③フードバンク

毎週月曜日に「フジ」「JA」のフードバンクに商品を取りに行き、社協のフードバンクで保管しています。

「食」に困った方への支援や、地域食堂を開催する地域やサロン等地域活動を行っている団体への支援に活用しています。

対象	利用者	数
個人	14名	264品
団体	3団体	205品

#### ④フードパントリー・フードパントリー弁当の開催

令和4年10月より、月に1回 御荘文化センター、城辺保健センターでフードパントリー（食の配布）を実施しています。  
また、月に1回ご縁茶屋でフードパントリー弁当を販売し、フードバンクを活用し食を必要としている方への支援を行っています。  
フードパントリーでは、食を配布するだけでなく、訪れた方が気軽に相談できる環境づくり、信頼関係の構築に勤め、相談者の早期発見につながっています。

##### 【フードパントリー】

日時	場所	参加人数	備考
10月5日	御荘文化センター	13名	
11月11日	城辺保健センター	13名	
12月12日	御荘文化センター	13名	
1月12日	城辺保健センター	中止	
2月8日	御荘文化センター	13名	カフェの開催
3月8日	城辺保健センター	13名	カフェの開催

##### 【フードパントリー利用者の意見】

- ・フードパントリーのようなことをもっとしてほしい
- ・ふだん買えないものが手に入るのうれしい
- ・お弁当もしているならお弁当も注文したい
- ・待っている間にカフェのようなお茶を飲むスペースがあるとよい
- ・ここに来ると、みんなと話せるのうれしい

##### 【フードパントリー弁当】

日時	場所	個数	
10月28日(金)	ご縁茶屋	128個	
11月25日(金)	ご縁茶屋	118個	
2月22日(水)	ご縁茶屋	159個	
3月22日(水)	ご縁茶屋	146個	

#### ○購入対象者

サロン、民生委員、相談者、事業所（企業）、個人ボランティア等多くの方に購入していただいています。

#### ○効果

- ・フードパントリー弁当を購入することで、多くの食品が取れ、栄養が多く取れ、安価で購入することができる。
- ・民生委員やサロンがフードパントリー弁当の趣旨を理解し、地域の独居の方や心配な方へ声掛けし、注文をとりまとめ、配達をしてくれている。
- ・事業所（企業）が地域活動に関心を持ち食品の提供をしていただく活動が広がっている。
- ・生活困窮者や相談者がフードパントリー弁当を作る手伝いや受付をするなど、「参加支援」の機会となっている。
- ・机で面と向かって相談を受けるより、作業をしながら話をするのでその人の得意なことや興味のあることを知ることができる。悩み事を聞くことができるなど寄り添った支援ができる。

#### ⑤関係機関との連携強化

重層的に係る研修会への参加、先進地の取組を学ぶことができました。  
また、地域の方との打ち合わせ会や会議では、地域の現状や課題の把握、今後の取り組みについて情報共有ができました。

実績評価 ・問題点	<p>重層的支援体制構築準備事業「地域づくり事業」では、柏地域、長月地域で懇話会を開催し、地域の方と一緒に地域のことを考える機会を設けることで、小地域での福祉活動への取り組み、支援体制構築ができてきています。</p> <p>また、個別支援(相談支援)と地域づくりの連携として、地域から相談が上がってきやすい関係づくりや、地域での参加の「場」づくりとして「懇話会」「地域食堂」「地域交流会」「担い手研修会」「夏休み、冬休み講座」「子育て支援講座」等に取り組み、地域の福力向上につながっています。フードパントリーやフードパントリー弁当に組み込む中で、地域活動関心を持ち参加していただく地域の方や企業が増えてきていることが、これまでの取り組みの成果と言えます。</p> <p>今後も、第3層(公民館区)を単位とした地域づくりの体制構築に努めていきます。</p> <p>課題として、第3層での体制構築にあたり、第3層と4層の一体型と、分割型、両方を見据え、地域の圏域を整理していくことが必要であることや、すべての地域での体制づくりには時間を要しことが挙げられます。地域づくりは、住民とともに体制を構築していくことが大切であり、地域の理解が不十分なまま進めていくこととなり、住民主体の地域づくりにならないからです。</p> <p>そうならないためにも5年度は、柏地域、長月地域を引きつづき重点的に取り組み、しっかりとした体制づくりを構築し、今後少しづつ他の地域での体制づくりに取り組みしていきます。</p>
--------------	--

《 9 》まごころ銀行運営事業	収入額	260,858円	主な財源	寄附金・受取利息
	支出額	80,000円		

①事業の概要・・・個人、団体の皆様より、いただいた寄附金品を預託して、地域福祉活動、災害見舞等の財源として役立てます。

②事業の目標…まごころ銀行規程に遵守した寄附金の活用をしていきます。寄付をしていただいた方の気持ちを大切に、継続して寄附をしていただけるよう、感謝の気持ちを示していきます。災害に備えて、災害緊急時のための積立金の確保を検討していきます。

寄附金の受入

No.	氏名・団体名	金額(円)	目的・使途
1	西崎 文恵 様	50,000円	地域福祉
2	株式会社エースワン様	10,226円	地域福祉
3	池田 恵子様	100,000円	地域福祉
4	松本 正子	100,000円	地域福祉
5	愛媛南部ヤクルト販売株式会社 様	594円	地域福祉
合 計		260,820円	

災害見舞金	4件(全焼4件)	80,000円
-------	----------	---------

実績評価 ・問題点	コロナ禍ではありましたが、地域のために役立ててほしいとのあたたかい寄付がありました。
--------------	--

《 10 》各種団体事務の協力、援助

	団体名	
①	民生児童委員協議会 本部・各支部	計6団体
②	愛媛県共同募金会愛南町支会	
③	愛南町戦没者遺族会 本部・各支部	計6団体
④	老人クラブ各支部	計5団体
⑤	愛南町軍人恩給連盟	

## 《 1 1 》居宅介護等事業

### <1>訪問介護事業・第1号訪問事業

収入額	51,873,830円	主な財源	介護報酬、利用者負担金、医療福祉応援金、取崩
支出額	54,825,071円		

①事業の概要…自立支援の視点と介護の専門技術を持った訪問介護員が自宅に訪問し、身体介護・生活援助・通院の介助等の介護サービスを行っています。介護予防・日常生活支援総合事業における身体介護・生活援助等のサービスを行っています。

②支援方針…遠隔地在住のパート職員や出張所活用により、愛南町の隅々まで希望に合わせできる限り訪問対応を行います。介護計画書に沿った個別援助計画に基づき、利用者の状態の変化に留意し、職員間でその情報をきちんと伝達しあって、適切な介護を行います。

③特徴…新型コロナウイルス感染予防の対策は引き続き利用者・ご家族だけでなく、職員やその関係者の行動把握をし、それぞれの状況に適切な対応を行っています。また、BCPの取り組み強化として、地震等の災害時には利用者にも電話や訪問での安否確認を行い、滞りなく安心したサービスが提供できるようにしています。

実績評価 ・問題点	長引くコロナ禍において、今年度は、職員・利用者家族等の感染が相次いだことと、ヘルパー数の減(22名⇒20名)により、事業実績に大きく影響が出ました。そのため、事業目標は未達成となっています。収支に大きく影響が出ましたが、そんな中でも拡大防止のため必要な感染対策を行いました。関係機関や利用者家族等との連携に努め、新規受け入れや現人員で可能な限りのサービスを展開し、利用者に寄り添ったサービスの提供に努め、事業の継続を図りました。課題としては、介護職員の不足によりサービス提供に制限が出てくる恐れがあることです。今後も継続して人材確保のための職員募集をしております。
--------------	--

### <2>障害福祉サービス事業 ※居宅介護(障害支援区分1以上)

収入額	10,891,020円	主な財源	介護給付費、医療福祉応援金
支出額	10,905,887円		

(居宅介護・重度訪問介護・同行援護) 障害者総合支援法に基づき実施。

#### ①事業概要

・居宅介護…愛南町が決定した障害支援区分1以上の障害者(児)に対して、訪問介護員が自宅で入浴・排泄及び食事などの介護や、生活などに関する相談及び助言その他生活全般にわたる介助を行います。

・重度訪問介護…重度の障害があり、常時介護を要する障害者(児)に対して、訪問介護員が自宅で、入浴・排泄及び食事などの介護や、生活全般にわたる介助、外出時における移動中の介助を行います。

・同行援護…視覚障害により、移動介助が必要な障害者(児)に対して、ガイドヘルパーが外出時の移動に必要な情報の提供(代筆・代読含む)、移動・排泄及び食事の介護、その他外出に必要な介助を行います。

②支援方針…利用者が希望する暮らしが続けられるよう、病気や障害状態を理解して、個々の状態や生活及び介護環境に合わせたサービスの提供を行います。

③特徴…新型コロナウイルス感染予防の対策は引き続き利用者・ご家族だけでなく、職員やその関係者の行動把握をし、それぞれの状況に適切な対応を行っています。また、BCPの取り組み強化として、地震等の災害時には利用者にも電話や訪問での安否確認を行い、滞りなく安心したサービスが提供できるようにしています。

同行援護従業者(ガイドヘルパー)養成研修修了者の5名(5名中2名応用課程修了者)が、視覚障害者の移動介助を行うことで、安心して外出でき、他者とコミュニケーションがとれ、社会とのつながりが持てるようになっていきます。

実績評価 ・問題点	新規依頼はなく、病気の悪化による入院や介護保険への移行、頻回ご利用の方の死亡もありましたが、事業目標については達成できました。今後5年度に65歳になられる利用者はおられません、その後も病状の進行等による介護保険への移行の可能性はあります。同行援護については、愛南町内では対応できる唯一の事業所として継続するために、課題であった応用課程を1名受講取得できました。今後も後継者育成のため一般課程受講を予定します。現利用者20名の支援を継続しつつ、新規依頼があれば対応していきます。
--------------	--

### <3> 地域生活支援事業（愛南町が独自で行っている事業）

収入額	562,500円	主な財源	町受託金
支出額	562,000円	訪問入浴へ繰入	

#### 1. 障害者訪問入浴事業

- ①事業の概要…愛南町の許可を受けた介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して入浴介助を行います。
- ②支援方針…介護保険利用と併用して利用できるので、両面から入浴支援を行います。
- ③特徴…看護師1名介護職員2名の3名のスタッフで入浴介助を行います。主治医の入浴許可のもと実施します。畳2畳の広さがあれば自室で入浴可能です。

#### 2. 障害者（児）移動支援事業

- ①事業の概要…愛南町の許可を受けた外出時に移動が困難な障害者（児）にガイドヘルパーが、外出の移動支援を行います。
- ②支援方針…利用者が安心して外出できるよう、安全な移動支援の提供と利用者を取り巻く周辺状況に気づきを持った支援を行えることを目指します。
- ③特 徴…愛南町が行う障害者（児）の旅行の移動支援も行っています。

#### 実績評価・ 問題点

1.障害者訪問入浴事業…介護保険の併用利用の方は1名/年間でした。介護保険との併用で3回/月の時もありました。新規3月1名、回数1回利用にとどまり、年間目標48件に対して実績45件と、やや達成できませんでした。町担当課へ、障がい者児の方々の利用も検討していただけるよう相談しています。

2.障害者（児）移動支援事業…移動支援を希望される利用者は、今年度も移動支援を町へ申請されました。しかし、昨年に続き、今年度も新型コロナウイルス感染予防対策により、身体障害者の旅行のガイド依頼はなく実績はありませんでした。楽しみにしている声もあり、希望があれば対応いたします。

### << 1 2 >> 居宅介護支援事業（予防プランのみ愛南町受託）

#### 居宅介護支援事業（①要介護対象サービス②総合事業・予防給付対象サービス）

① 要介護対象サービス	収入額	25,755,120円	主な財源	居宅介護支援介護給付費、応援金、補助金
	支出額	24,320,500円		

② 総合事業 予防給付 対象サービス	収入額	1,236,600円	主な財源	実績に応じた受託金
	支出額	924,635円		

#### ①事業の概要…

- 要介護対象サービス…保険・医療・福祉などに関する知識を持った介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護保険を利用する介護が必要な方や家族の要望を尊重し、心身の状態や家庭の状況を考慮して、適切なサービスが利用できるように支援します。本人とサービス事業者・その他関係者のパイプ役となり、連絡・調整や介護に関する様々な相談に応じます。
- 総合事業・予防給付対象サービス…愛南町介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務委託契約に基づいて、要支援認定を受けた方に対して、心身の状態や家庭の状況などを聞き取り利用者本人が望む生活を確認し、介護予防サービス計画やサービス提供表の作成、会議を行い、サービス利用による効果と課題を分析しながら利用者自身が自立した在宅生活の継続ができるよう町包括支援センターと連携し、充実した支援を行います。

②支援方針…外部研修の参加や事業所内外の事例検討会を重ね介護保険制度に沿った充実した対応ができるようにします。様々な事例に対する課題解決能力の向上を目指します。

③特 徴…24時間連絡体制を整備し、主任介護支援専門員を配置しています。介護支援専門員実務研修の実習生の受け入れを行っています。医療と介護の連携を強化し、適切なケアマネジメントの実施やケアマネジメントの質の向上に努め、研修等へ積極的に参加しています。



実績評価  
・問題点

1. 要介護対象サービス…新規を全て受け入れても短期で終了となるケースが多く、件数はそれほど増えていないのが現状ですが、感染対策を図りながら、新規受入れに順次対応できるような体制を整え件数の確保に努めました。また、コロナ影響から、業務内容にも変化が見られました。利用者への訪問時間を短縮しお電話での聞き取りをしたり、オンラインを活用した連絡、会議や研修が増えました。そのため、新規利用者との信頼関係の構築の仕方や、病院、施設、サービス事業所等との連携にも今まで以上に配慮と留意が必要となりました。
2. 総合事業・予防給付対象サービス…包括支援センターと連携し、要支援認定を受けられた利用者の暮らしを適切に支援できるよう予防プランの作成をいたしました。今後、要介護対象サービス、総合事業・予防給付サービスのいずれも、各職員については必須研修の受講や個別に職員自身の具体的な研修を実施し、適切にケアマネジメントが行えるようにしていく必要があります。

### 《 1 3 》訪問入浴（予防）事業

収入額	15,626,220円	主な財源	介護報酬、利用者負担金、繰入金、補助金
支出額	14,232,516円		

- ①事業の概要…介護・介助が必要な高齢者や障害者（児）の方々の自宅に訪問し、組み立て式の浴槽を設置して、入浴介助を行います。  
ボイラー搭載車に、組み立て式の浴槽を積み込み、スタッフ3名1チーム（看護師1名、介護職員2名）で訪問します。
- ②支援方針…自宅でプライバシーを守りながら、ゆったりと入浴をしていただけるよう、和やかな雰囲気づくりを心掛け、身体の保清と爽快感が実感できるようにサービスを行います。  
また、看護、介護資格を持たない職員の研修参加の機会を持ち、認知症対応力の向上を目指します。
- ③特徴…自宅のお部屋に約畳2畳のスペースがあれば入浴可能です。主治医の許可を得て入浴を行うようになります。

実績評価 ・問題点	<p>目標90件/月に対して、年間を通じた実績にはばらつきがありますが、月平均95件と目標を達成する事ができました。令和4年度の新規依頼は33件、前年の2.2倍ありましたが全て受けました。余命わずかで最後は自宅で迎えたいという方もおられ短期間利用傾向でした。(令和4年度訪問入浴利用者55名内死亡17名、入所や入院等8名)病状等難しい方も増えていますが「最期にお風呂に入れて良かった」と大変喜ばれています。今後も多職種との連携をとり一人でも多くの方に入浴していただけるよう対応します。また、看取りの方も多くなってきていますので、看取りの研修や病気に対する研修・対策等、スタッフの知識の向上・レベルアップを目指します。スタッフの年齢も上がり、体力低下や腰痛等体調に気をつけながら無理のない勤務調整を行います。人員確保のために看護師・介護員とも人員募集を予定しています。</p>
--------------	---

### 《 1 4 》通所介護事業

収入額	37,308,788円	主な財源	介護報酬、利用者負担金、繰入金、応援金、補助金
支出額	37,678,776円		

- ①事業の概要…愛南町内に住み、要介護・要支援の認定を受けた方が対象です。利用にあたり、送迎車で自宅とデイサービス施設の送迎を行います。デイサービス施設において、入浴・食事・排泄などの介助を行い、地域の方々との交流やレクリエーション・体操などを通して、社会的孤立の解消や、心身の機能が向上するよう支援します。
- ②支援方針…全職員で新型コロナ対策を継続し、利用者の方々に楽しんでいただきながら機能維持が図れるよう事業を行います。通所で提供した個別の運動マニュアルをお渡しし、自宅でも取り組んでいただきながら、利用者が小さな成功体験を重ねてもらうことで、自分でできることを増やしていけるよう支援します。また、看護、介護資格を持たない職員も有資格職員と共に、研修参加し、認知症対応力の向上を目指します。
- ③特徴…運営推進委員会を年間2回以上開催し、地域の方々に通所介護の活動について理解していただき貴重なご意見や活動への協力をしていただく機会を持っています。  
新型コロナ対策として、デイ利用が不可能な利用者へ自宅訪問し、入浴介助や機能訓練指導などを必要に応じて実施しています。（対象者限定）事業所施設内の畑で利用者のアドバイスを受けながら作った野菜を使い、地元職員が食べなれた味で調理し、出来立ての食事を提供しています。  
送迎時に利用をしたがらず、家族が困った場合には再度訪問し、利用をしていただけるよう関わります。

実績評価 ・問題点	<p>在宅事業の中でも一番コロナの影響を受けやすい事業となりました。利用者、職員に感染者が出たことで、9日間事業を休止せざるを得ませんでした。その他にも自主的に利用を休まれたり、一斉に抗原検査が必要になるなど、箱物施設のデメリットが顕著に現れました。コロナの影響で愛南町内の、デイやその他のサービスをお休みされた利用者の方には、サービスの再開期間が開けばあくほど、機能低下が見られました。年末近くには施設入所に至った方々もおられました。</p> <p>デイの現場においては、必要な時間帯に勤務する人員を雇用できたことで、安全に事故なく事業を行うことができました。新しい職員の間では利用者の情報量が違うため、状態の変化や利用者への対応などを、迅速、かつ細やかに共有しました。職員の気づきが増えたことで、記録表への記載もスムーズになってきているものの、業務の効率化が図れるとともに、介護技術やコミュニケーションスキルの向上に今後も努めていかなければなりません。</p> <p>今年度もコロナ感染防止の為、地域交流ができなかったり、地域の防災訓練に参加することができていません。来年度には、地域交流の機会を再開し、地域に密着した事業展開を行います。</p>
--------------	---

## 《 1 5 》障害者相談支援事業

### ＜1＞特定相談支援事業(計画相談)

収入額	1,457,200円	主な財源	相談支援給付費、取崩
支出額	1,892,651円		

①事業の概要…障害者（児）の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて支援します。愛南町よりサービスが必要と認められた方（受給者証発行）にサービス等利用計画の作成や見直し（モニタリング）を行います。

②支援方針…町内保健福祉課や地方局地域福祉課、作業所などのサービス事業所と協力し合って利用者が、地域で自分らしく暮らしていけるための適切なサービスが提供できるよう計画書を作成します。

③特徴…相談専門員研修修了者の相談支援専門員が担当し、障害福祉サービスに関わる制度や愛南町や近隣の地域資源を活用した支援を行います。

実績評価 ・問題点	<p>障がい者児の方々が自立した生活が送れるよう、必要なサービス支援計画を作成しました。作業所等でコロナ感染関連による行動規制があったり、コロナ関連の相談をされる方はおられました。徐々に慣れて来られ、以前のように混乱されることはありませんでした。一般相談から、計画相談につながり新規利用となった方が3名おられます。1名の方については愛南町に必要なサービスがなかったため住所を変更され終了となっています。今年度、1名が65歳となり、介護保険該当となったため移行されています。</p> <p>利用者の状態や取り巻く環境を確認後、サービス事業所や医療・保健関係者などと連携し、サービスの検討を行い、計画内容の変更を行いました。</p>
--------------	--

### ＜2＞一般相談支援事業(町受託事業)

収入額	4,001,000円	主な財源	町受託金
支出額	4,004,307円		

①事業の概要…障害者（児）とその家族の抱える様々な問題について相談に応じます。相談内容に合わせて情報の提供、専門機関の紹介、障害福祉サービスの利用につなげる支援を行います。

②支援方針…日々の事業活動の中で、町や地方局、事業所だけでなく、医療関係者や福祉関係者の方々など幅広い人々と連絡を取り合い、相談内容に応じて、適切な関係機関につなげます。

③特徴…特定相談事業所の職員が業務担当し、相談内容に合わせて、障害・介護保険・行政等の制度や専門職・地域資源と繋がり相談者の様々な問題が解決するよう支援を行っています。

実績評価 ・問題点	<p>相談者は、特定相談支援事業の対象となっている利用者が多く、9割を占めています。そのため、特定相談支援事業による、サービス計画の支援だけでは対応しきれない相談内容に対しては、主治医、保健師、行政、サービス事業所等と情報共有しチームにて対応を行いました。</p> <p>また、特定相談支援事業の利用者以外の相談者にも、相談内容に応じて必要な関係者への相談や対応依頼を行い、不安感の解消につながる支援を行いました。</p> <p>相談内容の内訳としては、健康・医療に関することが、半数以上を占めており、コロナ関連で利用者だけでなく、同居家族や関係者への留意などのアドバイスも行いました。</p>
--------------	---

《 1 6 》 「愛南町西海高齢者生活福祉センター」運営事業（町受託事業）

収入額	10,400,000円	主な財源	町受託金
支出額	10,537,304円		

①事業の概要…愛南町と受託契約のもと、入居されている高齢者にバランスの取れた食事の提供をします。

②支援方針…入居されている高齢者に、バランスの取れた食事を滞りなく提供します。関係職員や町担当者との連携を継続して行います。

③特徴…調理員によるメニューや、メニューに関わる栄養・健康などの説明、内容の周知等、食事内容だけではない“こだわり”をもって食事を提供しています。

実績評価 ・問題点	調理員を増員したことにより、負荷が偏っていた勤務体制を改善することができました。新しく地元の業者とつながったことで、ますます地産地消を取り入れることができ、旬の野菜や魚料理を提供することができています。ささやかではありますが、行事食を取り入れて喜んでいただいています。食材料費が値上がりする中で、食生活改善推進協議会の方にレシピをいただき、地元の食材を美味しく食べられるコツや工夫を教えてもらって、月に1つずつ新しいメニューに挑戦しています。
--------------	---